

巻の2ゴールも空しく... PK戦

8強で敗退

照準は総理大臣杯切符獲得へ

FORZA 駒澤 九号

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 駒澤大学マスコミ研究所内「駒人スポーツ」サッカー班
 Eメール forzakomazawa@hotmail.com
 TEL・FAX 03(3418)9556 発行人 熊崎雅之

（左好セーブを連発した新沼。しかしその健闘も報われなかった）



2001年度 第15回 関東大学サッカー選手権大会 準々決勝

駒澤大学2(PK1-3)2中央大学

6月10日 14:00 江戸川区陸上競技場

駒大2(2-1)2中大
PK3 (先) 6 4 18 30
6 5 7 17
X O X X

GK①新沼泉(3)	GK①鈴木強史(3)
DF⑨小林亮(1)	DF⑧星野大樹(4)
DF⑤津村典明(4)	DF④松本雄介(3)
DF⑬松田大輔(3)	DF⑫田中一久(3)
DF⑥三上卓哉(4)	MF②寺内雄貴(3)
MF⑦中後雅喜(1)	(83分⑩間島由剛(4))
MF⑫木村誠(4)	MF⑥根津賢太郎(4)
MF⑩高橋健次(4)	MF⑩太田真嗣(3)
(60分⑦橋本早十(2))	MF⑦中村憲剛(3)
MF⑧森田真実(4)	MF⑦大久保雄史(2)
FW⑨巻誠一郎(3)	(70分⑩田村雄三(1))
(69分③小林久晃(4))	FW⑨加藤良治(4)
FW⑩深井正樹(3)	FW②森川将人(1)
(90分⑩尹成熙(2))	(57分⑩高井進吾(2))
GK①桜井繁(4)	GK⑥講神秀人(3)
DF⑩鈴木祐輔(1)	DF⑨柴村直弥(1)
MF⑬田中信成(2)	MF⑬伊藤大伸(2)
FW⑬金位漫(4)	FW⑬吉田弘爾(3)

監督	
秋田浩一	山口芳忠
得点(アシスト)	
21分:巻(小林(亮))	44分:根津(PK)
22分:巻(木村)	73分:田中(根津)
<シュート>22:16<CK>5:3<オフサイド>6:2	
<FK>24:19<PK>0:1	

※名前ヨコ()は学年

江戸川に潜む悪魔?

PK戦。中後が外し勝負あり。その背中が駒大イレブンの気持ちを物語る

この日の舞台は、駒大にとって「悪魔」の住む場所、江戸川区陸上競技場。1年前も同大会をこの場所で戦い、青学の前に悲劇的に敗れ去った。

しかし前半21分、22分と巻が立て続けにゴールを奪い、今シーズン無敗のチームにそんなことは関係ないかのように思うに思われた。深井や木村もキレのある動きを見せ、新沼も好セーブを連発し、いいリズムで前半を終えるはずだった。

が、やはり「悪魔」は現れた。前半終了間際、小林亮がペナルティエリア内でフェアウルを犯しPKを与え、さらに後半73分にもセットプレーから決められ1点差。さうに後半73分にもセットプレーから決められ同点とされた。何度かあった決定機も決めることが出来ず、ついに勝負はPK戦へ。

こうなるとう点差を追い付いた中大と、追いつかれた駒大の勢いの差は歴然。駒大は津村以外の全員が外し、またしてもこゝ、江戸川で敗れ去った。

「次の代表決定戦に勝って全国へ行く」巻々々決勝で敗れた4チームがトーナメント形式で戦い、優勝したチームが、関東第5代表として7月に大阪で行われる総理大臣杯全日本大学サッカー選手権出場権を得る。この日主将を務めた津村は前を向いて語った。関東王者の夢は絶たれたが、まだ今季は始まったばかり。駒大イレブンには前を向いて頑張るべきだ。(熊崎)



Close Up MF木村誠(4年)

守りのかなめながら果敢に攻撃参加しているのはMF木村誠(4年)だ。この試合でも右サイドからのオーバーラップで再三にわたり得点チャンスを演出し、先制点のお膳立てもこなし。監督からの「両サイドは常に高い位置でのプレーを心がけよう」という試合前の指示が木村の持ち味のドリブルとオーバーラップを生かした速い攻撃につながっている。目立つプレーは少ないが、攻撃の起点となるセンターリングは試合展開から見逃せないものとなっている。(岩田)



この日2得点と活躍した巻。しかし試合後は「チームが勝たないと…」と表情は硬かった (All photo by Youichi Iwata)

那須Wユースへ!!!

DF那須大誠(2年)が7月7日からアルゼンチンで開幕するワールドユース大会全日本代表候補に選ばれた。これは前大会の若川(駒大)に続く快挙。しかし大会で活躍できるのは1人まで。那須は惜しくもバックアップメンバーに選ばされた。だが前に前向きな態度のこと。きつと何かを得て、回中大きくって帰ってくる。背番号は19